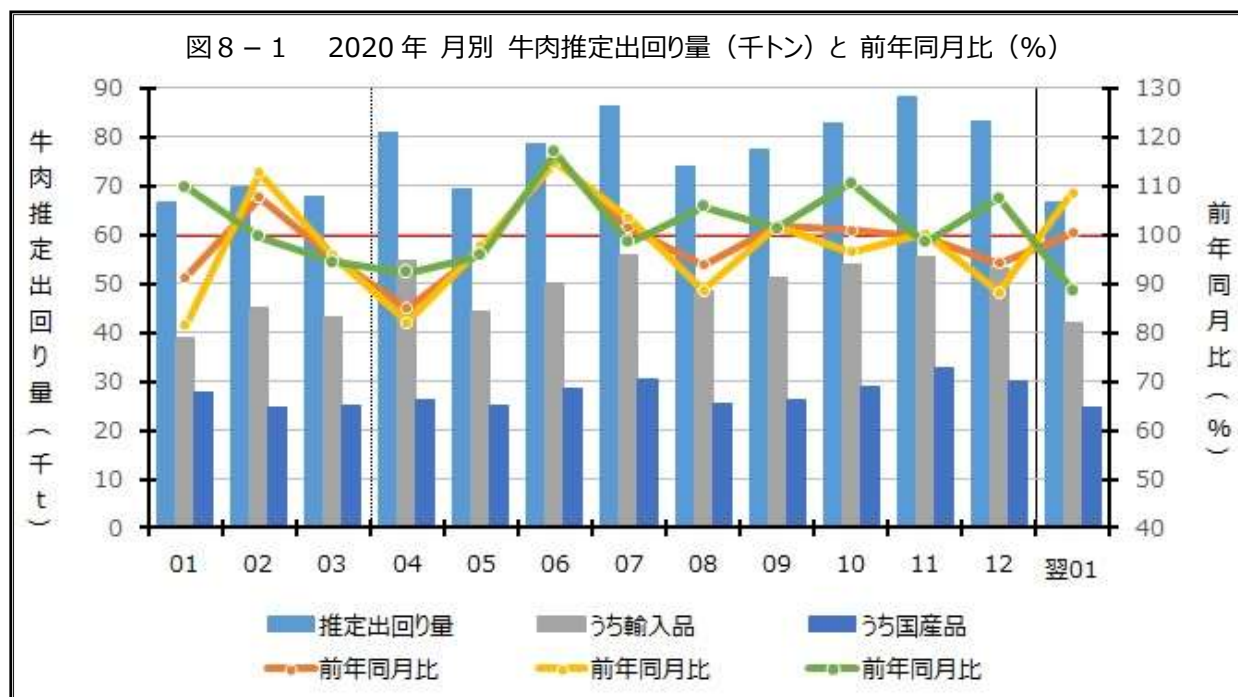


4 食肉の需給動向について

4-1 牛肉の推定出回り量（流通量）について



出典：独立行政法人農畜産業振興機構「牛肉需給表」

図8-1より、牛肉の2020年における「推定出回り量」を月次ベースでみると、前年比の減少率が高い時期は、コロナ感染が拡大した時期（4・5月及び8月、12月、翌1月）と一致しています。但し、8月・10月及び12月、前年比の動きは、「輸入品」と「国産品」では逆の動きをみせましたが、「全体量」では、流通量が多い「輸入品」に左右された動きとなっています。



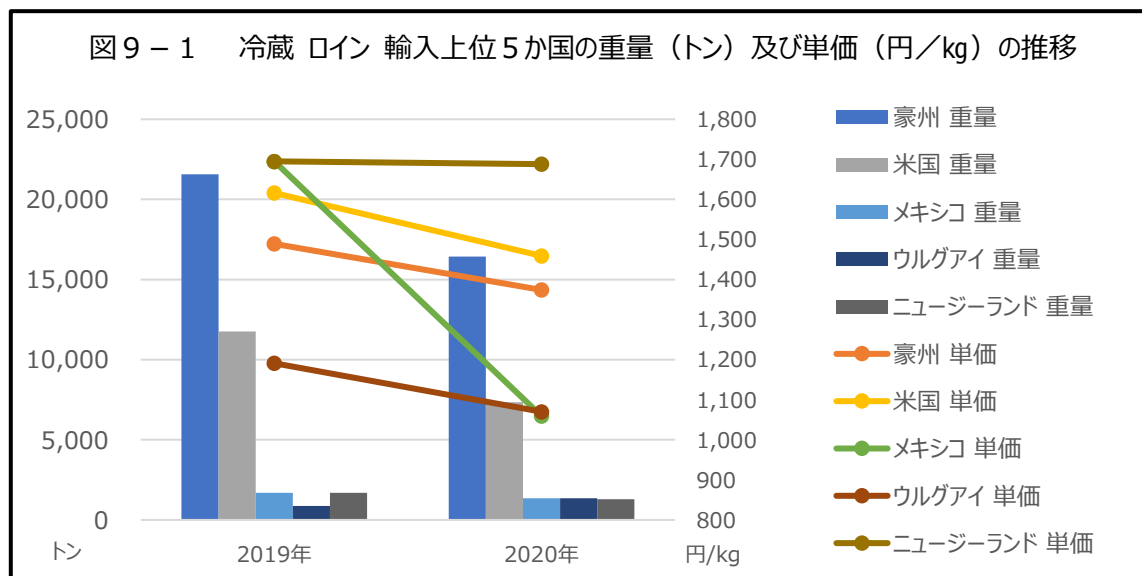
図8-2より、年次ベースでみると、2019年は、減少した「国産品」に対し、「輸入品」の増加が大きく、全体では若干増加しました。2020年では、「国産品」が増加していますが、「輸入品」の減少率が大きく、「全体量」も減少しています。

出典：独立行政法人農畜産業振興機構「牛肉需給表」より算出

4-2 2020年における牛肉の輸入及び輸出について

(1) 牛肉の輸入数量及び単価について

① 冷蔵ロイン



	輸入量(トン)		単価(円/Kg)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
合 計	<u>38,254</u>	28,275	1,516	1,377
うち 豪 州	21,561	16,428	1,489	1,374
米 国	11,763	7,334	1,616	1,459
メキシコ	1,698	1,357	1,695	1,059
ウルグアイ	867	1,356	1,191	1,070
ニュージーランド	1,698	1,291	1,695	1,688

出典：財務省「貿易統計」より算出

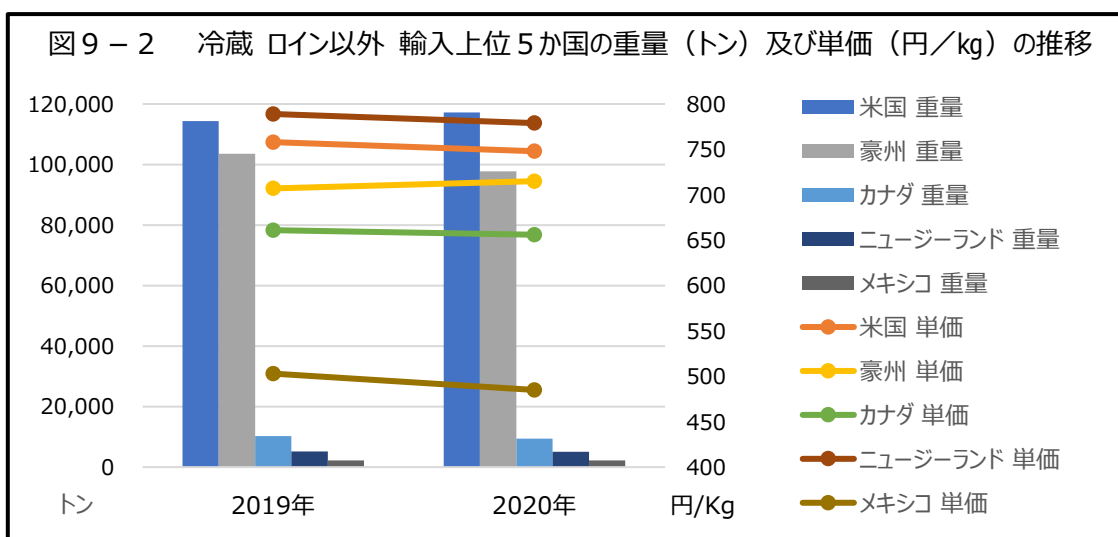
冷蔵ロインの輸入数量および単価について、2019年と2020年を比較した資料が上記グラフです。

2020年3月以降、高価格部位である冷蔵ロインの輸入数量は大幅に減少、年次ベースで前年比26%減となりました。輸入単価も前年比9%減となりました。

国内のロイン市場の縮小が反映された結果、輸入数量及び単価が減少しました。

2019年の冷蔵品輸入全体量273,990トン(38,254+235,736)のうち、ロインの割合は14%と、牛1頭分から取れる割合と概ね同じでしたが、2020年は11%と低下しました。

② 冷蔵ロイン以外



	輸入量(トン)		単価(円/Kg)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
合 計	235,736	232,565	730	728
うち 米 国	114,363	117,230	758	748
豪 州	103,560	97,747	707	715
カナダ	10,216	9,359	661	656
ニュージーランド	5,131	5,058	789	779
メキシコ	2,219	2,244	503	485

出典：財務省「貿易統計」より算出

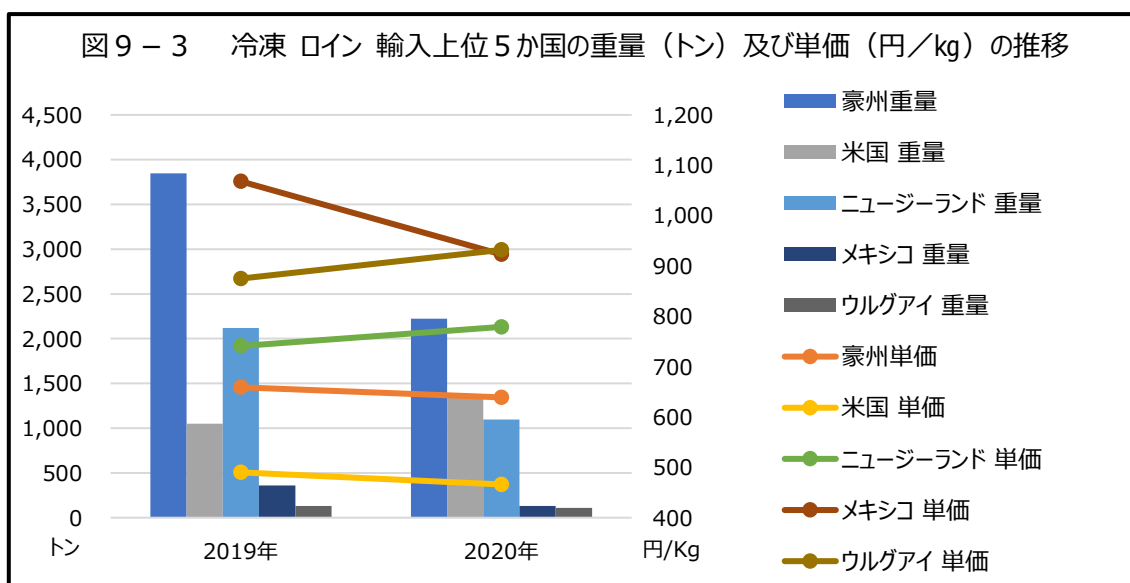
ロイン以外の部位の冷蔵牛肉の輸入数量および単価について、2019年と2020年を比較した資料が上記グラフです。

ロイン以外の部位の冷蔵牛肉の輸入数量は年次ベースで、2020年は前年比わずか1%減となりました。

主要輸入国別にみると、かんばつの影響により国内生産量が減少した豪州では、現地相場が上昇したため、前年比6%減となりました。米国ではコロナの感染拡大により、食肉処理場の操業停止や港湾荷役の混乱がありましたが、豪州の生産量減少の代替として米国産が輸入されたこともあり、米国からの数量が前年比3%増となりました。

単価は、2020年は前年とほぼ同じとなっています。コロナの世界的な感染拡大による海上運賃の高騰、米国における牛肉の短期的な相場の乱高下及び中国の輸入量急増など国際的に牛肉価格に係る大きな乱要因がありましたが、年次ベースでみれば輸入価格に大きな変化はありませんでした。

③ 冷凍ロイン



	輸入量(トン)		単価(円/Kg)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
合計	7,636	5,047	689	642
豪州	3,848	2,223	659	639
米国	1,052	1,352	490	466
ニュージーランド	2,121	1,097	741	779
メキシコ	361	132	1,068	923
ウルグアイ	130	111	875	932

出典：財務省「貿易統計」より算出

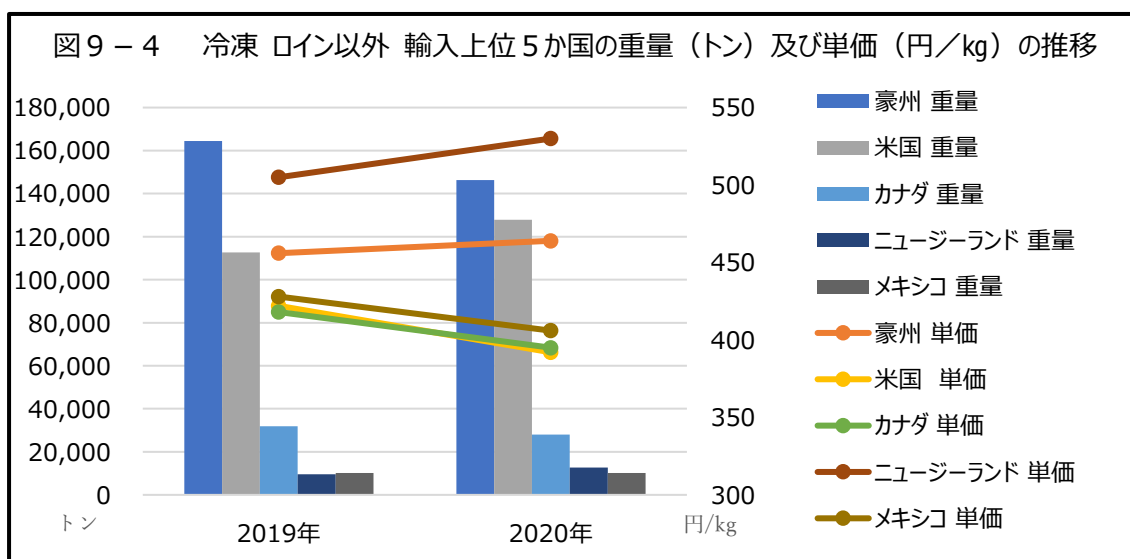
冷凍ロインの輸入数量および単価について、2019年と2020年を比較した資料が上記グラフです。

冷蔵品と異なり、冷凍品輸入量では、ロインの占める割合は極めて少なく、2019年で2%、2020年で1%でした。

2020年3月以降、高価格部位である冷凍のロインの輸入数量は大幅に減少し、年次ベースで2020年は前年比34%減となりました。単価も前年比7%減となりました。

こちらも冷蔵ロイン同様、国内のロイン市場の縮小が反映され、輸入数量及び単価が減少しました。

④ 冷凍ロイン以外



	輸入量(トン)		単価(円/Kg)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
合計	332,008	332,870	442	431
うち 豪 州	164,385	146,302	456	464
米 国	112,669	127,860	422	392
カ ナ ダ	31,890	28,071	418	395
ニュージーランド	9,596	12,721	505	530
メ キ シ コ	10,191	10,172	428	406

出典：財務省「貿易統計」より算出

冷凍のロイン以外の部位の輸入数量および単価について、2019年と2020年を比較した資料が上記グラフです。

冷凍ロイン以外の部位の輸入数量は、2020年の年次ベースで、冷蔵品と同様に、豪州が減少した一方、米国が増加し、全体では2019年と同程度の数量となりました。単価は前年比2%減となりました。

(2) 牛肉の輸出の数量及び単価について

表4 牛肉全体の直近2年の輸出動向(数量及び金額)

(単位: トン、百万円)

	合計数量					
		うちカンボジア	香港	台湾	米国	シンガポール
2019年	4339	1158	878	633	398	289
2020年	4845	1175	1091	815	525	320
前年比	1.12	1.01	1.24	1.29	1.32	1.11

	合計金額					
		うちカンボジア	香港	台湾	米国	シンガポール
2019年	29673	8673	5074	3681	3077	1691
2020年	28874	7734	5405	4145	4196	1762
前年比	0.97	0.89	1.07	1.13	1.36	1.04

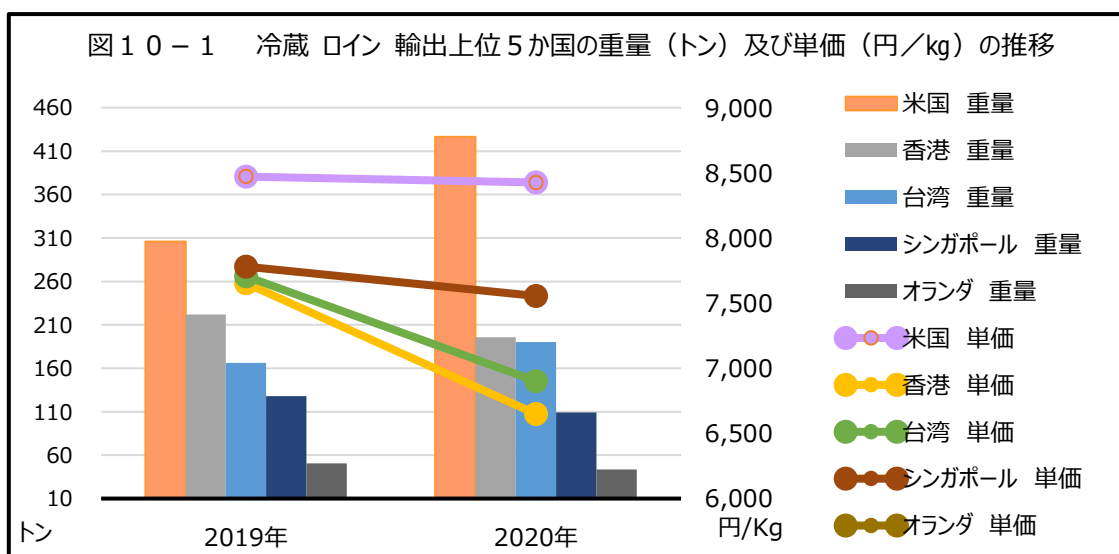
資料: 財務省「貿易統計」

輸出単価 2019年 6,839 円/Kg → 2020年 5,960 円/Kg (前年比 87%)

2020年の牛肉全体の輸出数量は前年比12%増の4,845トンとなり、輸出先はカンボジア、香港、台湾、米国、シンガポールの順で多く、いずれも前年輸出量を超え、前年の順位と変わりませんでしたが、前年比の増加率を比較すると、米国、台湾、香港が全体の増加率を超えていました。

輸出金額をみると、前年比3%減の289億円となりました。これは輸出数量が1位のカンボジア向けの数量が増加したにも関わらず、前年比11%減となり、輸出全体でキログラム当たりの単価が数量の増加率12%を超える13%減の5,960円となったためです。

① 冷蔵ロイン



	輸出量(トン)		単価(円/Kg)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
合計	1,112	1,145	8,576	7,992
うち 米 国	306	427	8,471	8,427
香 港	222	196	7,654	6,650
台 湾	166	190	7,706	6,902
シンガポール	128	109	7,780	7,556
オランダ	50	43	11,994	10,492

出典：財務省「貿易統計」

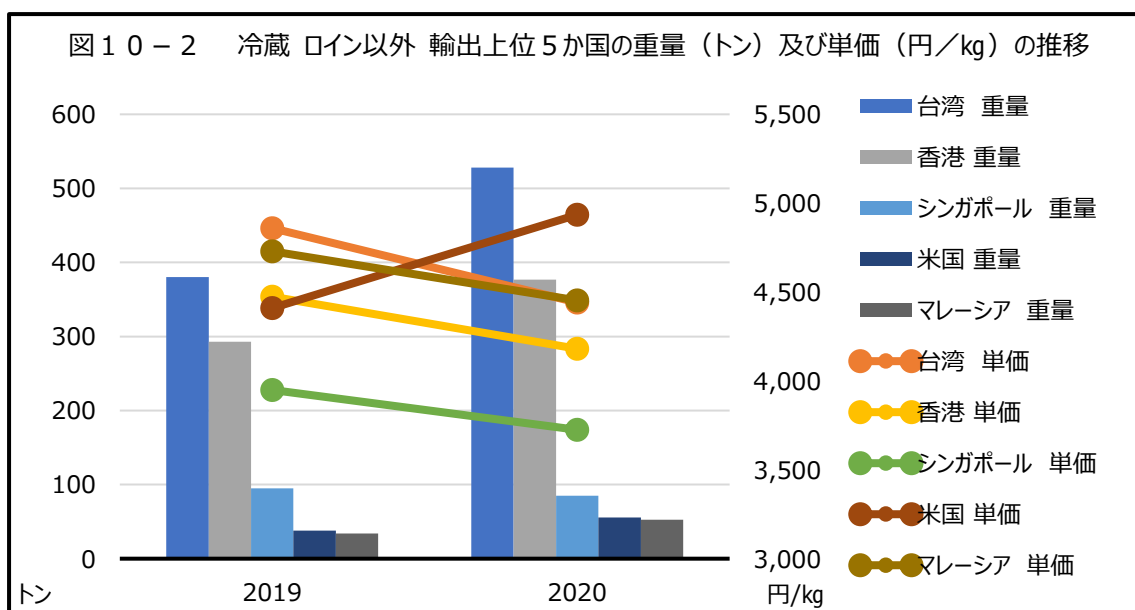
ロイン系冷蔵牛肉の単価がキログラム当たり8,000円前後であること及び業界のヒアリング結果からみて、和牛肉以外の輸出量は極めて少ないことから、貿易統計上の牛肉の輸出量はすべて和牛肉としました。

和牛の冷蔵ロインの輸出数量および単価について、2019年と2020年を比較した資料が上記グラフです。

2020年3月以降、輸出数量は大幅に減少しましたが、8月以降回復に転じ、年次ベースでは、数量は微増の1,145トン、単価は前年比7%減の7,992円/kgとなっています。

単価の下落は国内相場下落を反映した結果ですが、その減少率は国内相場に比べて小さく、輸出が国内ロイン相場を下支えしています。

② 冷蔵ロイン以外



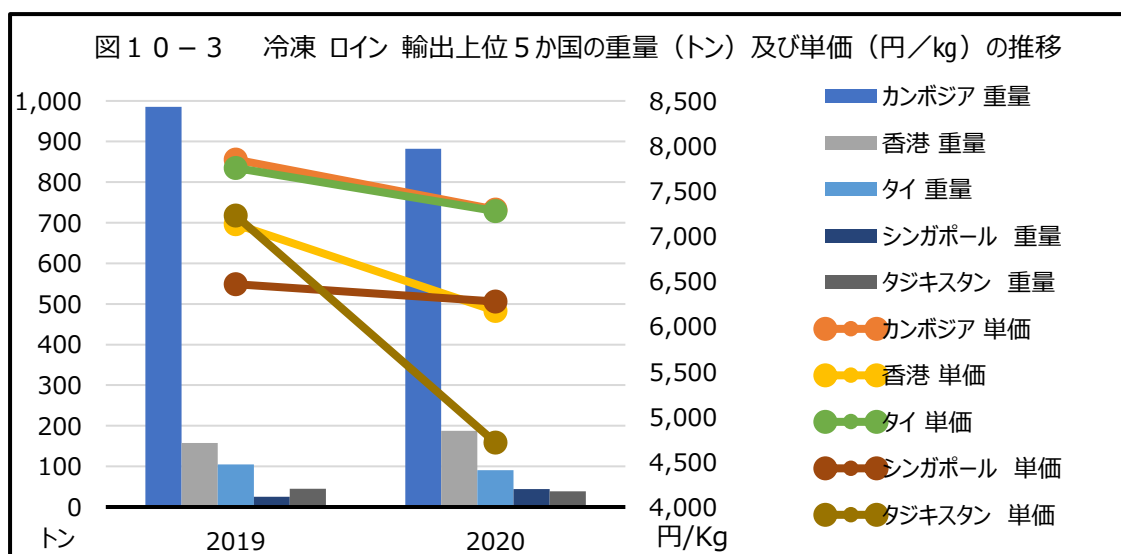
	輸出量(トン)		単価(円/Kg)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
合計	953	1,196	4,729	4,453
うち 台湾	380	528	4,859	4,441
香港	293	42	4,474	4,181
シンガポール	95	85	3,949	3,725
米国	38	56	4,410	4,935
マレーシア	34	53	5,265	5,172

出典：財務省「貿易統計」

和牛のロイン以外の部位の冷蔵牛肉の輸出数量および単価について、2019年と2020年を比較した資料が上記グラフです。

2020年3月以降輸出数量は減少しましたが、年次ベースで25%増となりました。単価は4,453円と、米国を除いて2020年は前年比で減少していますが、冷蔵ロインの7%減より価格低下率は6%減と小さいです。

② 冷凍ロイン



	輸出量(トン)		単価(円/Kg)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
合計	1,552	1,444	7,878	7,105
うち カンボジア	986	882	7,850	7,296
香港	158	187	7,134	6,173
タイ	105	91	7,757	7,279
シンガポール	25	44	6,469	6,277
タジキスタン	45	39	7,230	4,714

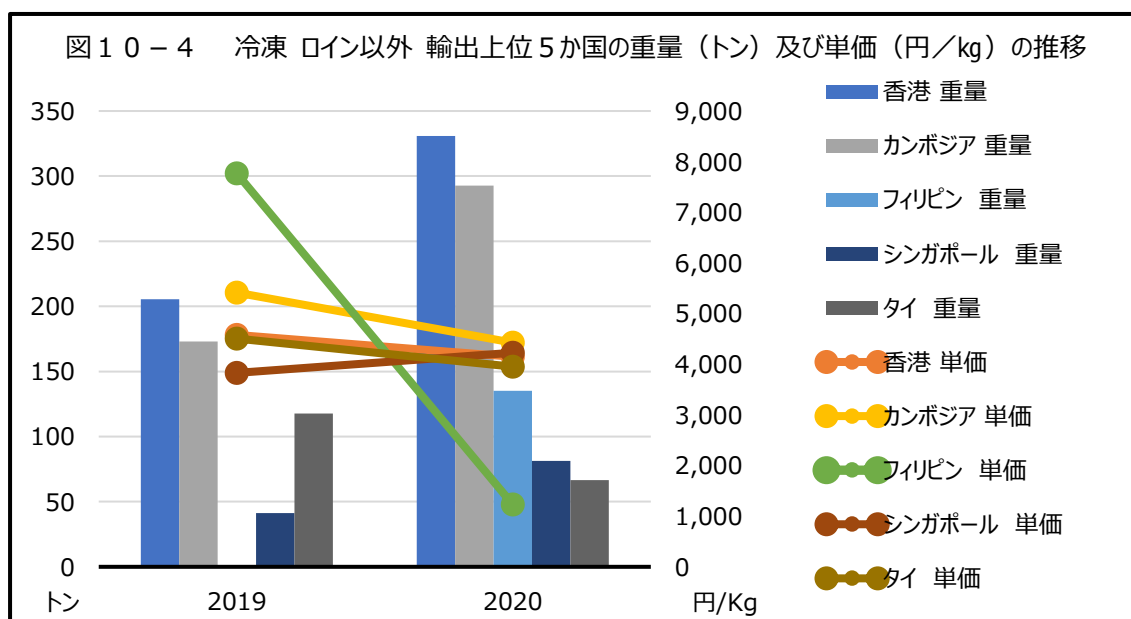
出典：財務省「貿易統計」

和牛の冷凍ロインの輸出数量および単価について、2019年と2020年を比較した資料が上記グラフです。

2020年3月以降、輸出数量は大幅に減少し、8月以降回復に転じましたが、年次ベースでは前年を上回ることとはなく、前年比7%減の1,444トンという結果に終わっています。冷蔵品と冷凍品のロインの合計輸出量は2,589トンで前年より75トン減少していますが、国内の和牛ロイン生産量の約13%を占めています(推定)。

2020年の単価は、前年比10%減と冷蔵品の7%減より大きく下落しています。

○冷凍 ロイン以外



	輸出量(トン)		単価(円/Kg)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
合計	722	1,059	4,711	3,903
うち 香港	206	331	4,579	4,148
カンボジア	173	293	5,414	4,426
フィリピン	1	135	7,769	1,231
シンガポール	41	81	3,829	4,227
タイ	118	67	4,506	3,952

出典：財務省「貿易統計」

和牛のロイン以外の部位の冷凍牛肉の輸出数量および単価について、2019年と2020年を比較した資料が上記グラフです。

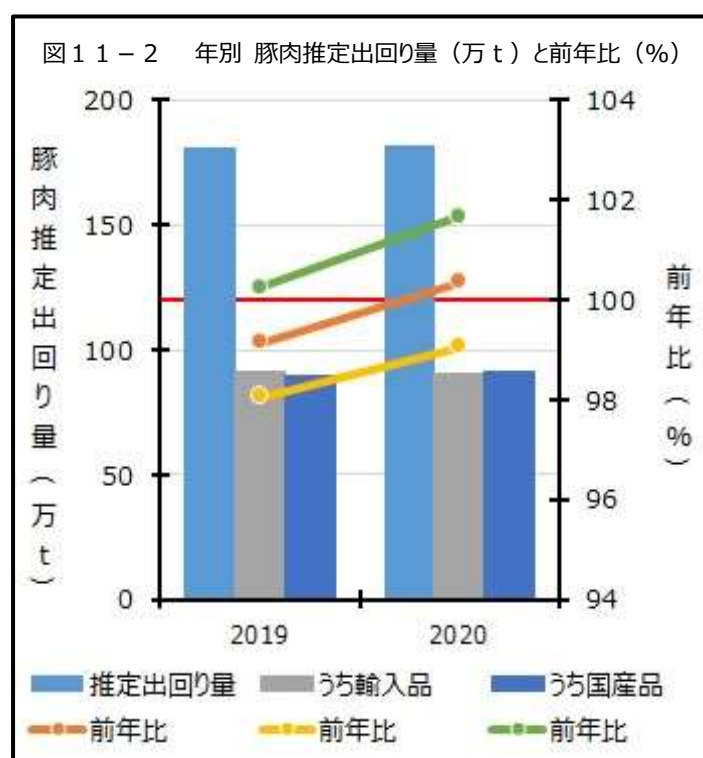
輸出数量は、年次ベースで前年比47%増の1,059トンと大幅に増加しました。逆に、2020年の単価は13%減と大きく下落しています。135トンと大幅に輸出量が増加したフィリピン向けの単価が1,231円であることから和牛肉以外が含まれていると考えられます。

4-3 豚肉の推定出回り量（流通量）について



出典：独立行政法人農畜産業振興機構「豚肉需給表」

図11-1より、2020年の「推定出回り量」を月次ベースでみた場合、前年比の減少率が高い時期は、2月、5月、8月～12月です。また、8月以降、「輸入品」の減少、「国産品」の需要が高まっていたのに加え、前年比の動きが、牛肉と同様に、「輸入品」と「国産品」では逆の動きをしています。



出典：独立行政法人農畜産業振興機構「豚肉需給表」より算出

年次ベースでみた場合、2019年は「輸入品」が減少したものの、「国産品」が増加したため、「全体」では微減でした。

2020年では、「輸入品」は、前年を下回っています。一方、「国産品」が、前年を上回って増加したため、「全体」では増加しました。

4-4 豚肉の輸入数量及び単価について

表5-1 豚肉の輸入数量（単位：トン）の推移

（単位：合計と部分肉・トン，前年比・％）

輸 入 量		生 鮮・冷 蔵				冷 凍				総 合 計	
年	月	合計 ※1	前年比	うち 部分肉	前年比	合計 ※1	前年比	うち 部分肉	前年比	合計 ※1,2	前年比
2019	年度	415,663	102.5	414,955	102.5	537,419	105.2	536,242	105.2	953,112	104.0
2020	1	33,546	106.7	33,493	106.7	38,733	128.0	38,661	128.3	72,280	117.1
	2	34,990	117.3	34,934	117.2	31,997	61.8	31,947	61.8	66,987	82.1
	3	35,452	103.9	35,393	103.9	32,175	93.3	32,098	93.3	67,628	98.6
	4	37,626	104.2	37,537	104.1	63,942	102.9	63,833	103.0	101,568	103.4
	5	33,478	95.7	33,411	95.7	46,387	93.9	46,285	93.9	79,864	94.6
	6	31,995	100.0	31,942	100.0	47,506	107.3	47,390	107.3	79,522	104.3
	7	34,642	96.3	34,579	96.3	40,368	81.8	40,292	81.8	75,011	87.9
	8	31,271	87.5	31,204	87.5	37,160	75.5	37,116	75.6	68,431	80.5
	9	32,565	111.0	32,505	111.0	32,850	67.3	32,788	67.4	65,416	83.7
	10	35,064	95.6	34,990	95.5	37,351	79.1	37,274	79.1	72,415	86.3
	11	38,515	105.7	38,428	105.7	31,964	69.1	31,885	69.1	70,497	85.2
	12	36,848	107.0	36,779	107.0	34,627	91.5	34,526	91.5	71,474	98.9
2021	1	33,495	99.8	33,446	99.9	33,125	85.5	33,057	85.5	66,620	92.2
	2	31,633	90.4	31,584	90.4	32,576	101.8	32,512	101.8	64,209	95.9
年度累計		377,131	99.2	376,405	99.2	437,857	86.7	436,959	86.7	815,028	92.0

資料：財務省「貿易統計」 注1：部分肉換算した数値である（※1）。

注2：くず肉を含む（※2）。

注3：直近2月は速報値である。

表5-1より、豚肉の輸入数量の推移をみると、今年2月までの2020年度では「生鮮・冷蔵」（以降、「チルド」という。）で、5月、7月、8月、10月、1月、2月は前年を下回っており、他の月は前年を上回っており、2月までの年度ベースでは1%減です。

「生鮮・冷蔵」の輸入量は、需要期である、4月は貿易協定等による関税引き下げを待っての通関手続きの影響で増加し、11月・12月は、国産豚肉が高値で推移してきた背景の下、輸入物で代替する動きが反映されたため、増加しました。

また、7月・8月は、輸出国でのコロナ禍等の食肉加工処理場での陽性者の発生、港湾荷役の停滞並びに中国の国内減産を補う大量輸入により、日本への輸出が計画的に実施できなかったため、輸入量は減少しました。

「冷凍」及び「総合計」では、7月以降2月まで、前年割れで推移し、2月までの年度ベースで「冷凍」は13%減、「総合計」は8%減です。

年間輸入量が減少傾向ですが、主として、輸出国側の事情等の海外要因によるものと業界関係者はみています。

表5-2 豚肉の輸入価格（輸入単価：単位・円/kg）の推移

（単位：合計と部分肉・円/kg，前年比・％）

輸入価格		生鮮・冷蔵				冷 凍				総合計	
年	月	合計 ※1	前年比	うち 部分肉	前年比	合計 ※1	前年比	うち 部分肉	前年比	合計 ※1,2	前年比
2019	年度	527	100.1	527	100.1	529	100.7	529	100.7	528	100.4
2020	1	528	99.8	527	99.8	534	101.4	533	101.5	531	100.6
	2	529	99.9	528	99.9	540	103.0	539	103.0	534	101.5
	3	527	100.0	526	100.0	539	102.9	538	102.9	533	101.4
	4	526	99.8	526	99.8	546	104.2	545	104.3	539	102.6
	5	526	99.7	526	99.7	543	103.9	543	103.9	536	102.1
	6	542	102.5	542	102.5	536	102.3	535	102.4	538	102.4
	7	581	110.2	581	110.3	535	102.0	535	102.0	556	105.8
	8	528	100.4	528	100.4	529	100.1	529	100.2	529	100.2
	9	527	100.1	526	100.1	522	98.7	522	98.7	524	99.3
	10	525	99.8	524	99.8	521	97.6	520	97.7	523	98.6
	11	526	99.9	525	99.9	520	97.7	520	97.6	523	98.8
	12	528	100.2	528	100.2	525	98.5	524	98.5	527	99.3
2021	1	525	99.5	524	99.5	523	98.0	523	98.0	524	98.7
	2	524	99.1	524	99.1	519	96.1	518	96.1	521	97.6
年度平均		533	101.0	532	101.0	531	100.4	530	100.4	532	100.7

資料：財務省「貿易統計」注1：部分肉換算した数値である（※1）。

注2：くず肉を含む（※2）。

注3：直近2月は速報値である。

表5-2より、輸入豚肉のキログラム当たりの単価の推移をみると、2020年度では、「チルド」で、輸入量の減少が顕著であった7月の価格が前年比10%高となっていました。前述した、海外事情により単価が上昇したとみられます。9月以降の単価では、チルドは前年並み、冷凍は前年を下回って推移してきました。

年度ベースでみると、貿易協定の関税率削減効果より、コロナ禍を含む海外要因の方が輸入単価により影響を与えたと考えられます。